

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公開番号】特開 2007-161728 (P2007-161728A)

【公開日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2007-024

【出願番号】特願 2007-34350 (P2007-34350)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/24	(2006.01)
A 6 1 K	8/88	(2006.01)
A 6 1 K	8/81	(2006.01)
A 6 1 K	8/25	(2006.01)
A 6 1 K	8/26	(2006.01)
A 6 1 K	8/29	(2006.01)
A 6 1 K	8/06	(2006.01)
A 6 1 Q	1/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/18	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/24
A 6 1 K	8/88
A 6 1 K	8/81
A 6 1 K	8/25
A 6 1 K	8/26
A 6 1 K	8/29
A 6 1 K	8/06
A 6 1 Q	1/14
A 6 1 K	9/18
A 6 1 K	9/06
A 6 1 K	9/107
A 6 1 K	9/14

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 27 日 (2007.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

集合体又は凝集体の形で集合化されていない多孔性粒子であって、 $10\text{ }\mu\text{m}$ 以下の体積平均直径、及び $1\text{ m}^2/\text{g}$ 以上の比表面積を有すること及び、該粒子の内部に少なくとも存在するところの、抗微生物剤、抗菌剤、皮脂調節剤、皮脂刺激剤、抗皮膚老化剤、特に角質溶解剤又は落屑剤、ニキビ治療剤、抗生物質、毛損失阻害剤/毛成長刺激剤、毛髪又は体毛の成長を阻害する剤、抗フケ剤、抗酸化剤、アストリンゼント、毛穴収斂剤、制汗剤、ビタミン、抗炎症剤、及びそれらの混合物から選択される少なくとも 1 の化粧料的に又

は医薬的に活性な化合物を含むことを特徴とする粒子。

【請求項 2】

集合体又は凝集体の形で集合化されていない多孔性粒子が、 $10\text{ }\mu\text{m}$ 以下の体積平均直径、及び $1\text{ m}^2/\text{g}$ 以上の比表面積を有し、ナイロン 6、ナイロン 6-6、ナイロン 12、及びナイロン 6-12 の粒子から選択された有機多孔質物質から選択されること、及びその粒子の内部に少なくとも存在する、角質溶解剤又は落屑剤から選択された化粧品料的に又は医薬的に活性な化合物を含むことを特徴とする粒子。

【請求項 3】

$0.2 \sim 5\text{ g/cm}^3$ の範囲の体積当たりの質量を有することを特徴とする請求項 1～2 のいずれか 1 項に記載の粒子。

【請求項 4】

3 以下の分散度を有することを特徴とする、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の粒子。

【請求項 5】

有機多孔性粒子から由来することを特徴とする、請求項 1 に記載の粒子。

【請求項 6】

無機多孔性粒子から由来することを特徴とする、請求項 1 に記載の粒子。

【請求項 7】

有機及び無機の複合材料からできた多孔性粒子から由来することを特徴とする、請求項 1 に記載の粒子。

【請求項 8】

活性化合物：活性化合物を与えられていない多孔性粒子の重量比が、 $1/100 \sim 1/1$ であることを特徴とする、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の粒子。

【請求項 9】

請求項 1～8 のいずれか 1 項において定義された粒子を含むことを特徴とする化粧品組成物又は医薬組成物。

【請求項 10】

請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載の集合体又は凝集体の形で集合化されていない多孔質粒子又は請求項 9 に記載の化粧品組成物又は医薬組成物を皮膚の表面に局所的に施与する工程を少なくとも含む、化粧品料的に又は医薬的に活性な化合物を毛嚢脂腺単位へ投与する方法。